

冬場の入浴事故にご注意ください。

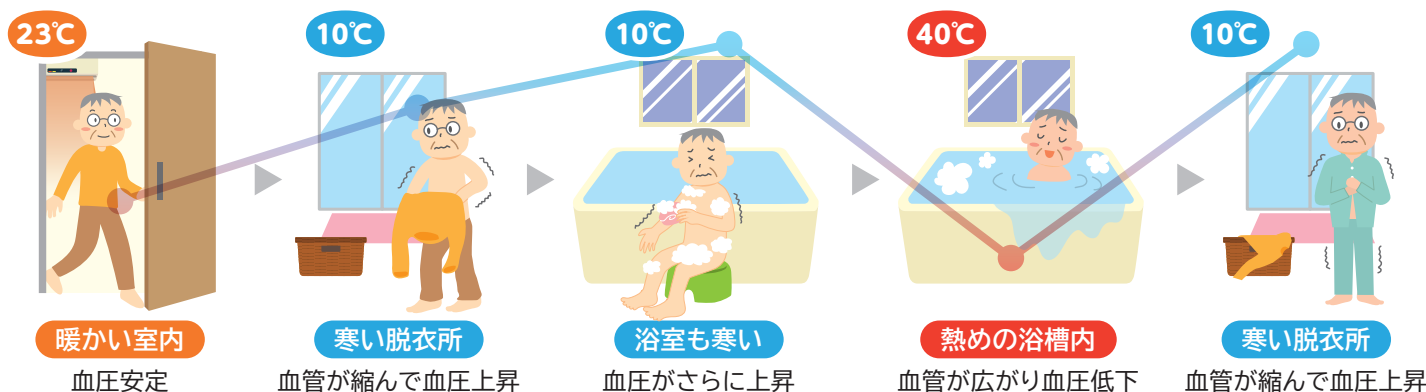
LPガスで安心・安全 ヒートショック対策 のポイントを解説



ヒートショックって何？

◎温度の急激な変化で血圧が上下に大きく変動することなどが原因となり起こる健康被害のことで失神や心筋梗塞、不整脈、脳梗塞を起こすことがあります。入浴時に急激な血圧低下により失神し、溺れて死亡するケースは、入浴時のヒートショックの典型的な例です。

ヒートショックは冬場に暖房の効いたリビングから脱衣所へ移動し、浴槽に入る時などに起こります。

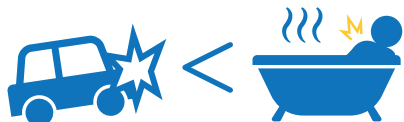


年間17,000人が 入浴中急死！

入浴中のヒートショックによる死亡者は交通事故(4,117人)の約4.1倍

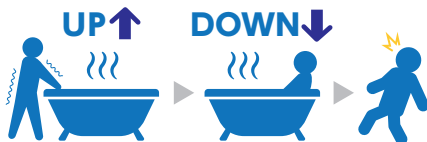
※1東京都健康長寿医療センター研究所 平成23年調べ

※2警察庁 平成27年調べ



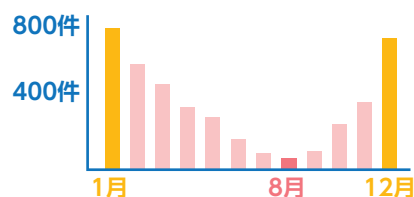
入浴時血圧が 大きく変動

寒冷刺激による血圧上昇、入浴中の急激な血圧低下によって失神などのヒートショックが引き起こされ、死亡事故に繋がっています。



冬に頻発！ 夏の約11倍

入浴中の事故発生率は、外気温が低くなる12月から1月にかけてもっとも少ない8月の11倍になります。



寒い冬は血圧の変動が大きいので要注意。

ヒートショックを防ぐには、浴室や脱衣所の「室温」がポイントです！



check ヒートショックを防ぐには…

裏面をチェック

ヒートショックを防止するためには…



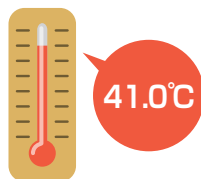
入浴時のヒートショックを防ぐポイント

1 日没前の入浴



脱衣所や浴室がそれほど冷え込まない日没前の入浴が良いでしょう。人の生理機能が高いうちに入浴すると温度差への適応がしやすくなります。

2 入浴温度は41℃以下



急激な血圧低下を防ぐため、お風呂の温度設定は、41℃以下にすることを勧めします。

3 食事直後・飲酒時の入浴はNG



食後や飲酒時の入浴は、血圧が下がりやすくなりますので、入浴は控えましょう！



ヒートショック対策にはLPガス仕様の「暖房機器」の設置がおすすめ

◎冷え込みやすい脱衣所や浴室、トイレを暖房器具で温めることは、効果的なヒートショック対策となります。



浴室暖房乾燥機

浴室暖房乾燥機



天井設置型



壁付け型

ガス等で暖めたお湯を循環し、パワフルに浴室を暖めます。嫌なカビや結露の発生にも効果的であり、雨が続く梅雨時などのお洗濯でも浴室で洗濯物を干せる衣類乾燥も装備。

脱衣所暖房機



ガス等で暖めたお湯を循環し、パワフルに脱衣所を暖めます。既存の脱衣所にも設置しやすいタイプです。

設置をお考えの場合は販売店までお気軽にご相談ください。

LPガスでヒートショック対策
(浴室暖房でポッカポカ)

LPガスでお洗濯がラクに
(衣類乾燥で家事ラク)

LPガスでイヤなカビを抑える
(浴室乾燥でピッカピカ)



WEBや動画でもヒートショックについてわかりやすく解説

◎次のQRコードから、関連団体で公開中のヒートショックに関する解説や動画がご視聴できます。

一般社団法人日本ガス石油機器工業会



一般社団法人全国LPガス協会



※LPガスのことお気軽にご相談ください。

静岡県LPガスお客様相談所

受付時間

0120-17-2680

8時30分～17時15分
(土・日・祝は除く)



一般社団法人 静岡県LPガス協会

〒420-0064 静岡市葵区本通6-1-10 TEL.054-255-2451

<http://www.shizuokalpg.or.jp>

静岡県LPガス協会

検索

販売店